

おれんじニュース

No372

2021年5月

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
岳人からの便り	5
高熱隧道	6
おれんじカレンダー	8

雲仙のムシカリ

2021年	5月	6月	時 間
専門部会	11(火) 山川町公民館	8(火) 西諫早公民館	13:30~15:30
全体集会	26(水) 西諫早公民館	23(水) 西諫早公民館	19:00~21:00

5月



月例山行案内

部	自然保護部	山行部	技術研修部	ひまわり部
月/日(曜)	5/9(日)	5/16(日)	5/22(土)	5/28(金)
山名(行事)	名尾峠～金立山～大峠 遠見山・殿隠山に変更	英岩・本城岳・黒髪山 烏帽子岩に変更(長崎)	雲仙(妙見・国見・普賢)	高岩山
地 図	広滝、佐賀北部	有田	雲仙・島原	雲 仙
集合場所	西諫早駅 8:30	浜の町バス停 9:30 (浜屋前電車通り)	西諫早駅 8:00	諫早駅西口 9:20 西諫早駅 9:10
難 易 度	体力1/技術1	体力1/技術1	体力2/技術1	体力1/技術1
帰着時間	16:00	17:00	17:00	15:30
歩行時間	4.0h	5.0h	5.0h	3.5h
交通手段	マイカー	JR、バス	マイカー	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし	なし
参加費	3,500 実費	3,500 実費	1,000	700
申込期限	5/1	5/8	5/16	5/24
集 約	中野	田村	山下ちずこ	田中
備 考	名尾峠から登り、爽やかな尾根と、徐福伝の金立山を越え大峠に下山。	山頂からの展望有田陶器見学	オオヤマレンゲを見に行こう	高岩山登山と宝原園地のミヤマキリシマ観賞

6月

部	山行部	技術研修部	自然保護部	ひまわり部
月/日(曜)	6/6(日)	6/13(日)	6/20(日)	6/25(金)
山名(行事)	阿蘇(高岳・中岳)	土器山～腰巻山～大峠	帆場岳クリーンハイク	八天岳
地 図	阿蘇山	広 滝	長崎東北部	諫早南部
集合場所	諫早駅西口 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅西口 7:00 西諫早駅 7:10	諫早駅 7:56・西諫早駅 8:00 喜々津 8:05・市布 8:11 現川駅 8:18	諫早駅西口 9:00 西諫早駅 9:20
難 易 度	体力3/技術2	体力1/技術1	体力2/技術1	体力1/技術1
帰着時間	17:00	18:00	18:00	14:00
歩行時間	6.0h	4.5/5.0h	5.0h(ゆっくり組み 3.0h)	3.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	JR	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし	なし
参加費	5,000	4,000	600	700
申込期限	5/30	6/3	6/15	6/20
集 約	田村	山下ちずこ	中野	田中
備 考	仙酔峡～高岳～中岳～砂千里ヶ浜～阿蘇山上駅	山岳信仰の霊山で上宮には数対の巨石がある	身近な低山なれど、コースによりハードです 山頂より展望良し	飯盛町と諫早の境界で山頂には八天狗の記念碑在り、展望なし

事務局より

1. 第 42 回定期総会

4月3日(土) 13:00～16:00 西諫早公民館において第42回定期総会が開催されました。会長挨拶につづき、兵庫さんの長年の貢献に感謝状をお渡ししました。その後、議案提案事項の説明・議案採決新役員選出が行われました。



第 42 回定期総会



感謝状贈呈

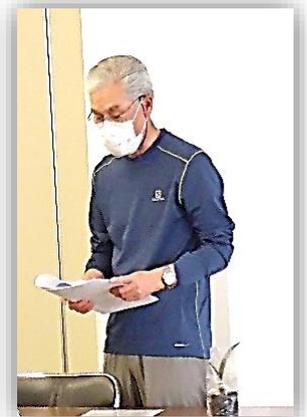
よろしくお祈いします

2. オレンジハイキングクラブ新役員

第42回定期総会で新役員が承認されました。



顧問	: 川原慶紀	副会長	: 福岡正廣・大久保瓢舟
会長	: 鎗水律夫	副局長	: 中里利行
事務局長	: 工藤 学	会計監査	: 大久保瓢舟
会計	: 高田啓子	副部長	: 松岡正樹
技術研修部長	: 山下ちず子	副部長	: 白石勝子
山行部長	: 坂口荘一	副部長	: 西 寿男
自然保護部長	: 今坂武敏	副部長	: 金丸 勝
ひまわり山行部長	: 福岡正廣	評議員	: 福岡正廣・中須賀孝正
県連理事	: 松岡正樹	労山山岳事故対策基金	: 白石勝子
登山学校	: 鎗水律夫		



新会長挨拶

3. 事務局業務担当

会場予約・配送 : 田中静香 おれんじニュース : 編集委員会 HP : 鎗水律夫

◇ 県連より

- ・第56期県連総会

日時 : 5月16日(日) 場所 : 長崎市民会館大会議室 時間 : 13:00～17:00

- ・登山学校委員会「コロナ禍中の登山展望集会」日時 : 6月12日(土) 場所等未定
- ・全国連救助技術交流会(福岡) 7月3日～4日

◇ 会費納入について

会費の納入は4月中にお願いします。会計担当の高田さんに手渡すか下記へ

郵便振込口座 ゆうちょ銀行 17650 30444651 オレンジハイキングクラブ

定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

実施日	3月27日				
場所	運動公園				
参加数	6名	ルート工作	自己確保	マッシャーによる確保	ルペルソによる下降



火曜岩ハイキング

月日	3/23森山桜街道	3/30琴路・唐泉岳	4/6中岳ヤマシャク鑑賞	4/20浄土山
参加	13名	13名	14名	10名
行程	9:45 慶師野公園P～桜街道～11:00風の森 12:20～13:15 穴喰岳～14:00 慶師野公園P	10:40 琴路岳P～10:55 琴路岳～11:40 唐泉岳P～12:05 唐泉岳 12:50～13:20 八天神社—14:00 和泉式部公園	10:00 水神P～11:00 おたちね観音～12:40 中岳下ヤマシャク群生地～14:30 おたちね観音～15:00 シャクナゲ公園～15:40 水神P	10:10,13 登山口P～10:40,13 仏～12:19 浄土山山頂～12:55 浄土山石彫～14:05 浄土山登山口P
感想	好天の中満開の桜街道を満喫、風の森の雰囲気も良かったが、穴喰岳は採石場の中で登山道荒れており明確でなかった。	琴路岳は急登を15分で頂上に、しかし展望はない。唐泉岳も舗装道の急坂を25分、立派な祠あり、下山後下宮の八天神社へ。	シャクナゲ公園の登山口から尾根道を歩きおたちね観音へ、中岳下への登山道は一部崩落している。ヤマシャク、シャクナゲとも満開だった	500mほどの低山ながら、急登、厳しい下りだった。イワタバコ、エビネランを鑑賞しました。
備考	桜街道 	唐泉岳 	ヤマシャクヤク 	浄土山の急登と13仏 



水曜登山

月日	3/24 鉢巻山・吾妻岳	3/31 虚空蔵山東尾根	4/7 五家原・中岳	4/14 鳴鼓岳・烏帽子岳
参加	8名	8名	7名	8名
行程	9:00 吾妻牧場の里P～10:15 鉢巻山～12:40 吾妻岳 13:10～自然歩道～15:10 吾妻牧場の里P	9:30 おお茶の木P～10:10 赤岩登山口～12:10、520m 地点 12:50～15:30 桃ノ木峠林道～16:10 おお茶の木P	9:10 黒木大樫P～11:50 五家原 12:20～13:05 中岳～13:30～五家原北斜面～ヤマシャク群生地～15:45 黒木P	9:30 鳴鼓岳公園P～10:05 展望広場～10:45～芝生広場 11:15 鳴鼓岳～烏帽子岳 11:40～13:20 鳴鼓岳公園P
感想	鉢巻山から鞍部へ、吾妻岳への直登は急坂で体力を要した。下山後鞍部からの自然歩道は快適だったが最後の10分は急登だった。	登山口からは急坂でロープをたどり岩場を登り尾根道へ、樹林帯の中を進むが目標もなくなり、4.5回迷う、ハードなコースだった。	ヤマシャク群生地までの急斜面、水害で荒れた登山道は落石、浮石などに注意を払いハードな6時間だった。	気持ちの良い縦走路で森林浴を楽しめた。烏帽子岳の最後の上りはかなり急登だった。一部道路補修があり、狭い迂回路を通った。
備考	吾妻観音へ 	赤岩からの急登と茶畑 	ヤマシャク群生地への急坂 	烏帽子岳の急登 

岳人(村川氏)からの便り

オレンジハイキングクラブの皆様ご無沙汰しております。

OHC時代は大変お世話になり楽しい時を過ごす事ができ有難う御座いました。皆様におかれましては、コロナ禍の中、自粛し県外・団体での山行が出来ず大変な状況と推察いたしますが、お元気で過ごしのことと存じます。

私は東京に来て約1年が経とうとしていますが、コロナ禍の中、神戸に帰省した際に裏山(摩耶山)に登る程度で自粛していましたが、8月に兵庫県の屋根氷ノ山(1,510m)に登った事を皮切りに、9月に日本百名山的那須岳(1,915m)に登りました。

しかし、残念ながら濃霧で絶景は望めませんでした。10月には、富士山が間近に望める三ツ峠山(1,732m)と日本百名山の筑波山(817m)に登りました。筑波山からも薄っすらと富士山が望めました。11月には、陣馬山(855)から高尾山(599m)まで20.6kmの縦走と、箱根の金時山(1,212m)で富士山の絶景を望みました。12月には、氷瀑を求めて裏六甲に出かけましたが、残念ながら一部しか凍っていませんでした。年が明けて1月には、丹沢山系の塔ノ岳(1,491m)にハードで有名な通称バカ尾根こと大倉尾根に登りました。この日は、天気が良く空気が澄み切っていて、塔ノ岳の山頂からは、富士山をはじめ南アルプス、八ヶ岳、相模湾には、大島と江の島が、また、横浜、東京の街並みが、遠くには筑波山も望めました。また、雪を求めて奥高尾にも出かけました。2月には、日本百名山の丹沢山(1,567m)に日帰り19km歩行しました。また、奥多摩の大岳山(1,226m)から鋸山(1,109m)の縦走や、丹沢山系の三峰山(934m)から大山(1,247m)の縦走もしました。3月は、再び大山(1,247m)にミツマタを求めて行きましたが、時期が過ぎていてホワイトミツマタとなっていました。昨年度の主な山行記録をダラダラと記載しましたが、基本、日帰りソロで電車とバスで活動していました。関東の山は、山道が良く整備されていて、大体、天気が良ければ日本一の富士山が望めます。



高尾山より



大山より



塔ノ岳より

今年度は、自粛をしながら日帰りで行けそうな残りの日本百名山で東京都最高峰の雲取山(2,017m)や両神山(1,723m)などに登り、可能であればアルプスにも行きたいのですが、誰か一緒に行ってくれませんか？

また、東京や神戸にお越しの際は、お声掛けして下さい。山でも飲み会でも同行させていただきます。それでは、皆様、お元気で、安全登山で、また、お会いできることを楽しみにしています。

～山の本紹介～

「高熱隧道」 吉村明著～新潮文庫を読みました。

(川原慶紀 記)

昭和十年代の事、迫りくる戦争に備え軍需物資生産の為、多大な電力が必要とされ、発電所を作る必要に迫られた。

黒部川に三番目の発電所を作る、陰阻な山岳地帯であり、その黒部第三発電所ダム(仙人谷ダム)建設の為の資材運搬の道はトンネルを掘る、それしか無かった。

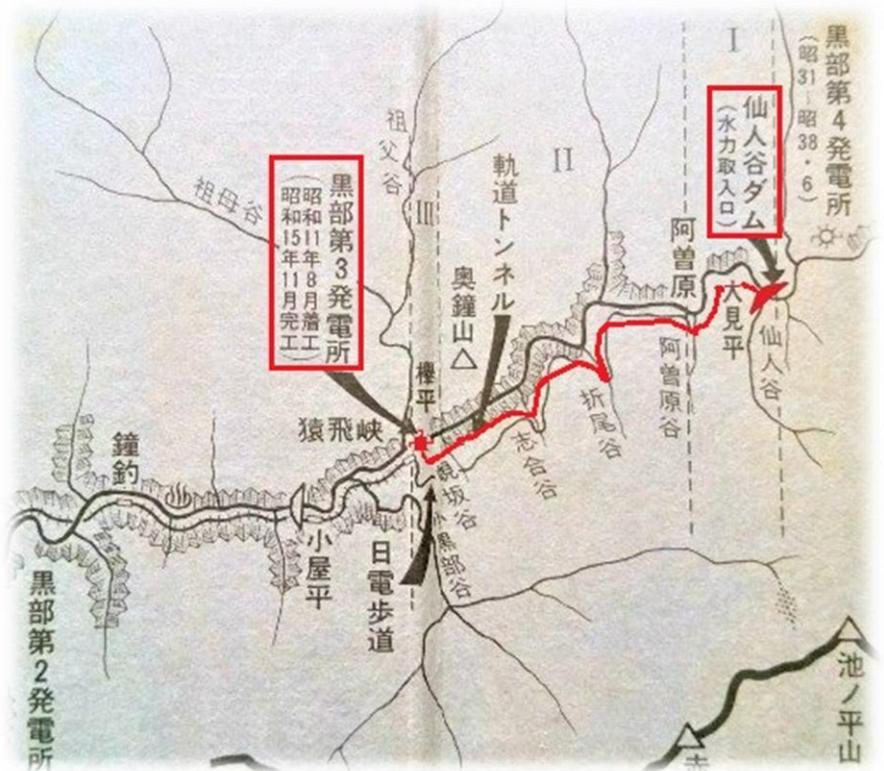
一帯は白山火山帯の上で、温泉地帯、高地熱地帯である。掘削が始まった大岩壁は、初っ端から40℃を超えていた。

発破用ダイナマイトの使用は40℃が限度とされている。これ以上になれば自然発火で爆発を起こす。

爆発を起こしその為に多くの命が失われもした。掘りはじめて間もなく、岩盤の温度は65℃となり、その後も急激に温度は上昇していく。

工事終盤には168℃を記録した。作業は黒部川の雪解け水をポンプで汲み上げ、背後からホースで冷水を浴びせながら続く。その水もすぐに沸騰する。

腰まで熱湯に使っての作業が続けられた。作業員の体は赤黒く煮えた肌の色を呈していた。何故にこんな過酷な場所で働くのかと言えば、それは、他の所と比べて5～6倍の賃金が得られることであった。工事中に働きながら命を失うものも相次いだ。



事故はそれだけでは無かった。雪崩である。鉄筋コンクリート五階建ての作業員宿舎を、泡雪崩(ほうなだれ)が襲う。二階から五階までを引きちぎって、谷一つ越えた向かい側の岸壁に叩

きつけていた。飛ばされた距離は500mを超える。休息していた八十名の作業員が亡くなった。

泡雪崩とは、空気を含んだ大量の新雪と、雪庇崩壊とが相俟って起ると言われている。ヨーロッパアルプスでは、この雪崩で一村全体が空中に吹き上げられ、多くの死傷者を出したという。



三百余名の人命を呑み込んで、昭和15年11月21日ダムは完工した。

間もなく工事が終わるころ、火薬庫のカギが何者かに壊され、ダイナマイトが何本か無くなっていた。作業を指揮した人たちは、いつの間にかここから姿を消していた。...金の為とはいえ、命を削って働き、生きながらえた者の、渦巻く怨念を感じていたのである。



戦争遂行の為であったが、戦争は儘く終わる。

一たび完成された隧道は、自然の一部でもあるかのように観光に利用され、そして平和に役立ち、また公害産業の原動力を提供する。トンネルは崇高とも見え、醜悪ともいえる風貌を曝しながら存在する。

責任者として、現場を指揮したものは社会進歩の為か、...。否、そんな理屈は空々しい、隧道(トンネル)貫通の欲望があるだけだ。現場の作業者に犠牲を強いるが、貫通の歓喜も深い。掘削に携わる者にしか理解できない、仕事人根性か？

この本に描かれているのは、「高熱隧道」65~168℃の中で、蠢めき働く人たちの有様であり、「泡雪崩」雪庇崩壊と新雪の含む空気の、低温下における爆発的風圧を引き起こす雪崩の恐怖であり、「鑿先貫通(のみさきかんつう)」両側から掘り進んで相手方に削岩機の鑿先を、先に突き出した方に多く報奨金が贈られると云う、その為の隧道工事人の譲れぬ職業意識などである。



黒部第3ダム



黒部第3発電所

★ 写真類は NET よりコピー



おれんじカレンダー

5月			6月		
1	土	ボルタリング	1	火	火曜岩ハイキング
2	日		2	水	水曜登山
3	月		3	木	
4	火	火曜岩ハイキング	4	金	
5	水	水曜登山	5	土	ボルタリング
6	木		6	日	阿蘇(高岳・中岳)(山行部)
7	金		7	月	
8	土	ボルタリング	8	火	火曜岩ハイキング, 専門部会
9	日	名尾峠～金立山(自然保護部) 変更	9	水	水曜登山
10	月		10	木	
11	火	火曜岩ハイキング, 専門部会(山川町)	11	金	
12	水	水曜登山	12	土	ボルタリング
13	木		13	日	土器山、腰巻山(技研部)
14	金		14	月	
15	土	ボルタリング	15	火	火曜岩ハイキング
16	日	英岩、本城岳、黒髪山(山行部) 変更	16	水	水曜登山
17	月		17	木	
18	火	火曜岩ハイキング	18	金	
19	水	水曜登山	19	土	ボルタリング
20	木		20	日	帆場岳クリーンハイク(自然保護部)
21	金		21	月	
22	土	雲仙(妙見・国見・普賢)(技研部)	22	火	火曜岩ハイキング
23	日		23	水	水曜登山 全体集会(西諫早公民館)
24	月		24	木	
25	火	火曜岩ハイキング	25	金	八天岳(ひまわり部)
26	水	水曜登山 全体集会(西諫早公民館)	26	土	コンパニオンレスキュー
27	木		27	日	
28	金	高岩山(ひまわり部)	28	月	
29	土	コンパニオンレスキュー	29	火	火曜岩ハイキング
30	日		30	水	水曜登山
31	月				

川原顧問所掌 ➡ 火曜岩ハイキング(9:00)、コンパニオンレスキュー(月末土曜 9:30) 西諫早駅集合
 ボルダリング(コンパニオンレスキュー日を除く 毎土曜 13:30) またたび

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集委員	鎗水律夫、福岡正廣、工藤学、中里利行、林孝子 中野美津子、田中静香、高田啓子、山下文代
発行年月日	2021/4/28
郵便振込口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com